2024年11月期　決算説明会

～中期経営計画の進捗状況、決算ハイライト、次期計画概要　及びPBR改善に向けた取り組み～

株式会社サーラコーポレーション

2025年１月16日（木）

目次

1. サーラの概要及び中期経営計画の進捗状況
   決算ハイライト、次期計画概要
2. セグメント別の決算概況 及び 次期計画について
3. 資本コストや株価を意識した経営の取り組み状況
4. 参考資料

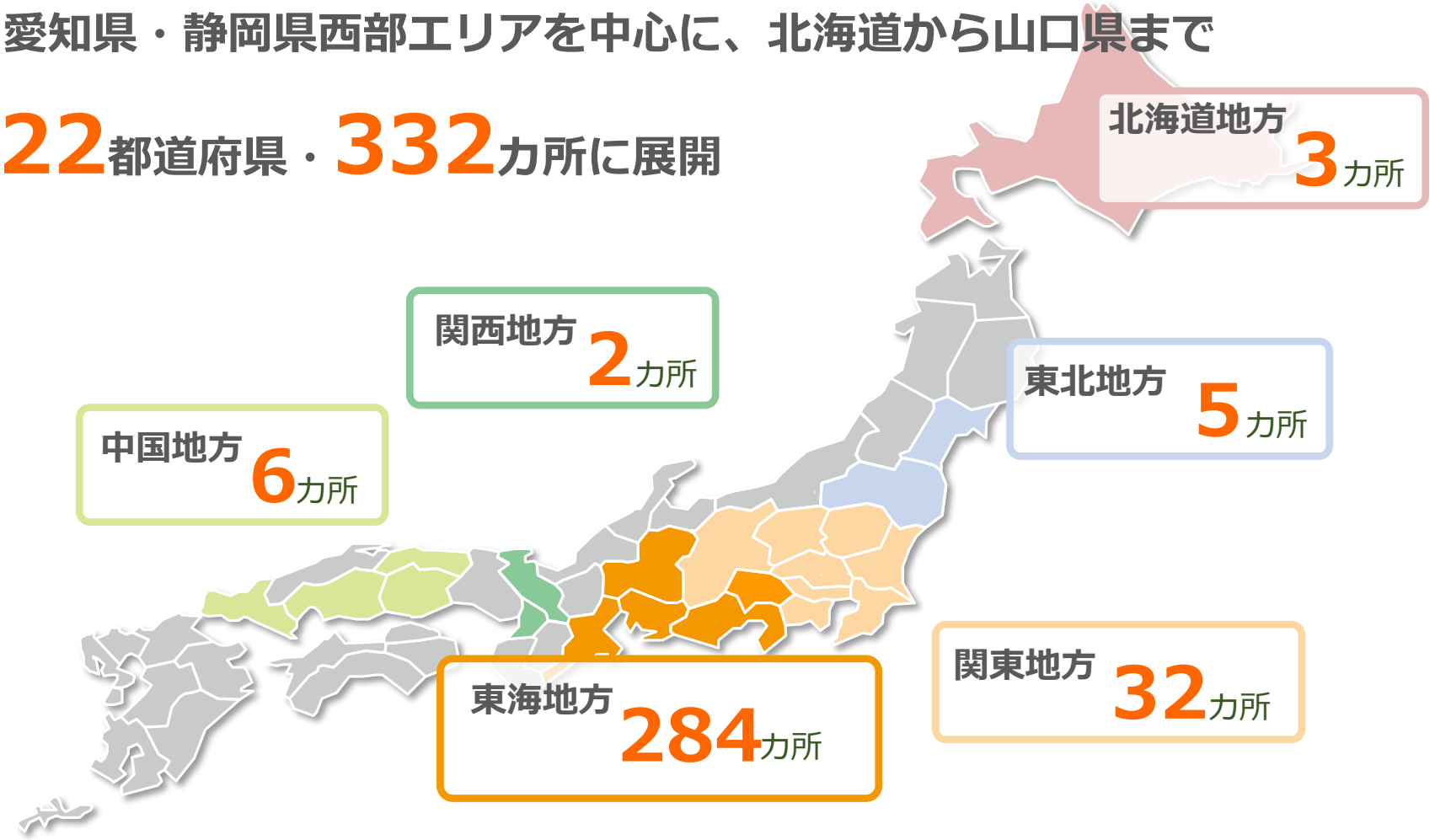
1. サーラの概要及び中期経営計画の進捗状況
決算ハイライト、次期計画概要

サーラの概要①　事業エリア

SALA GROUP

愛知県・静岡県西部エリアを中心に、北海道から山口県まで

22都道府県・**332**カ所に展開



（2024年2月1日現在）

創業
1909年

従業員数
約5,000名

お客さま数
54万件

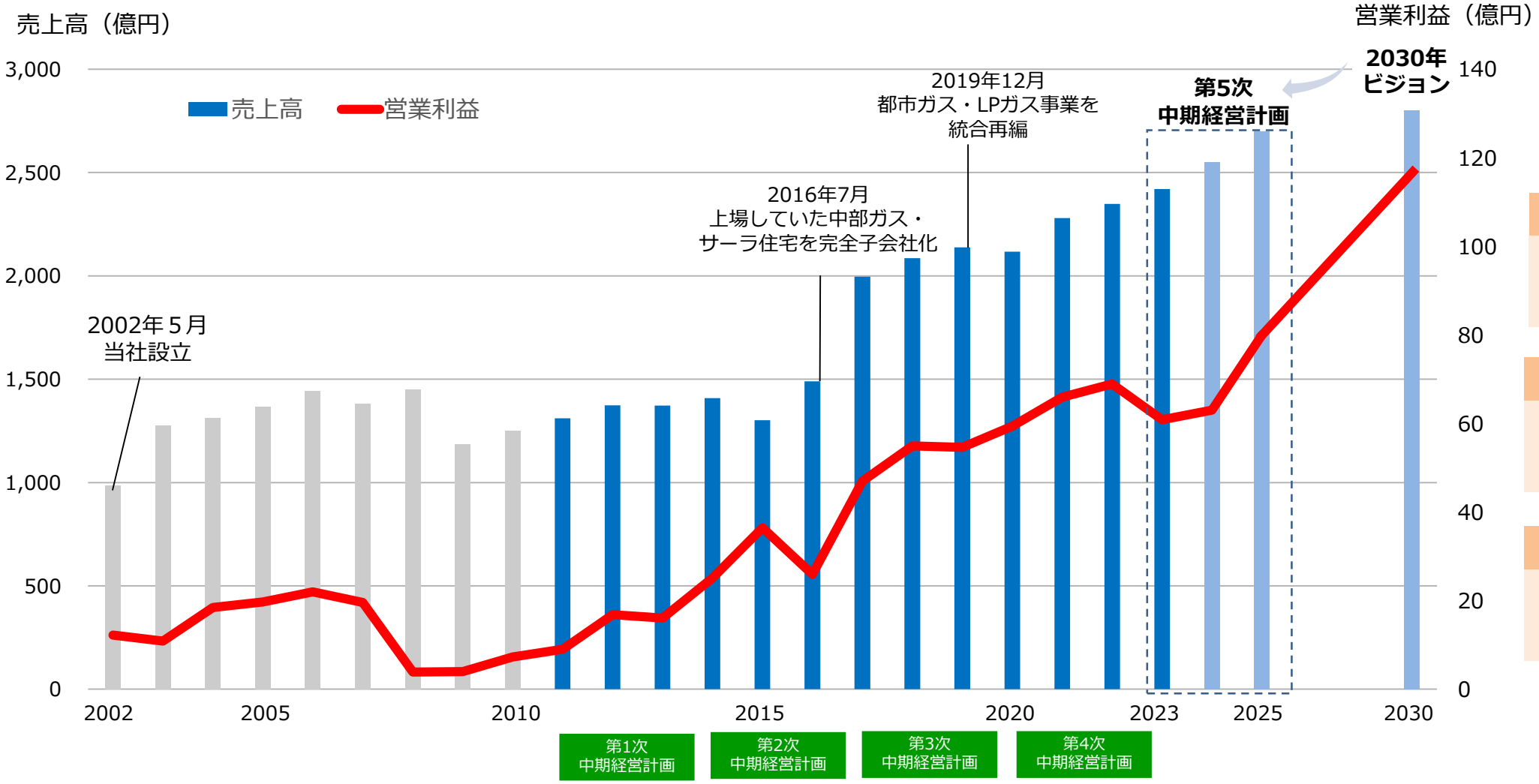
売上高
2,404億円

サーラの概要②　事業展開

エネルギー事業から始まり、
多彩なサービスで豊かな暮らし、ビジネス支援、魅力あるまちを実現

サーラの概要③　業績推移・2030年ビジョン数値計画

これまでは、統合再編とシナジー発揮により着実な成長を実現
今後は、ビジョンからのバックキャストで事業変革と成長投資を加速



2030年
連結数値目標

売上高
2,800億円

営業利益
120億円

営業利益率
4.3%

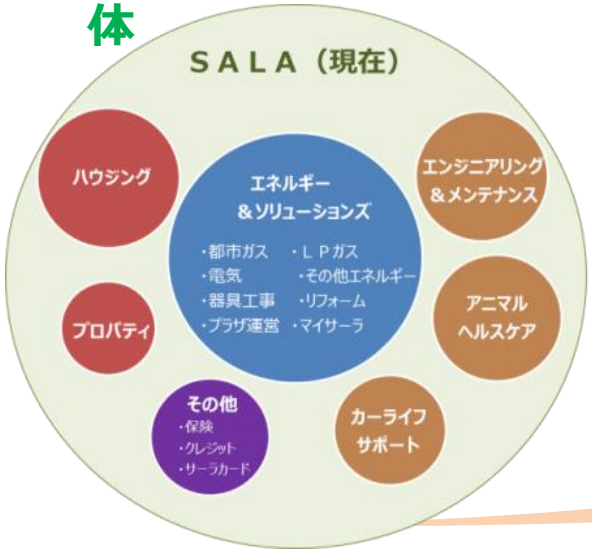
サーラの概要④　2030年ビジョンに向けた第5次中期経営計画の位置づけ

2030年の「暮らしのSALA」の確立に向け、総合的な事業展開で住まい・ビジネスサポート事業の飛躍的成長を実現する

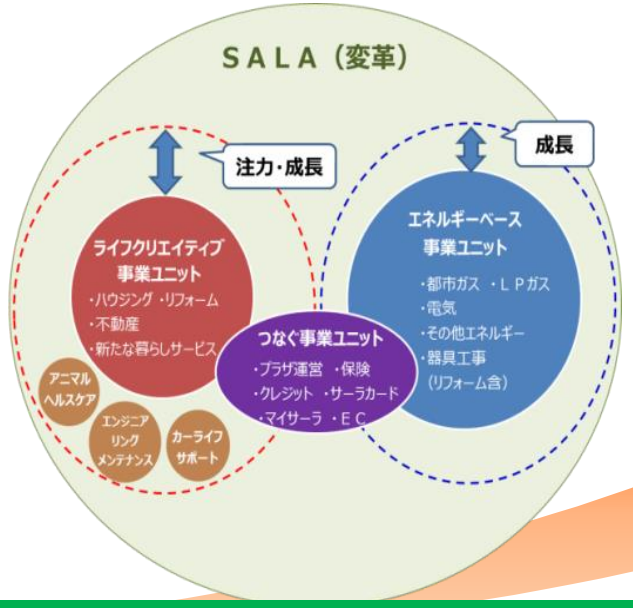
【第5次中期経営計画の新たな成長の枠組み】

✔新たなサービス・事業の開発
✔住まいや不動産などのセグメントの枠を取り外した成長
✔BtoBではセグメントの枠を取り外したソリューションサービスによる成長

セグメントの集合体



住まいの仕事の再定義



成長分野への投資

2030年 暮らしのSALAの確立

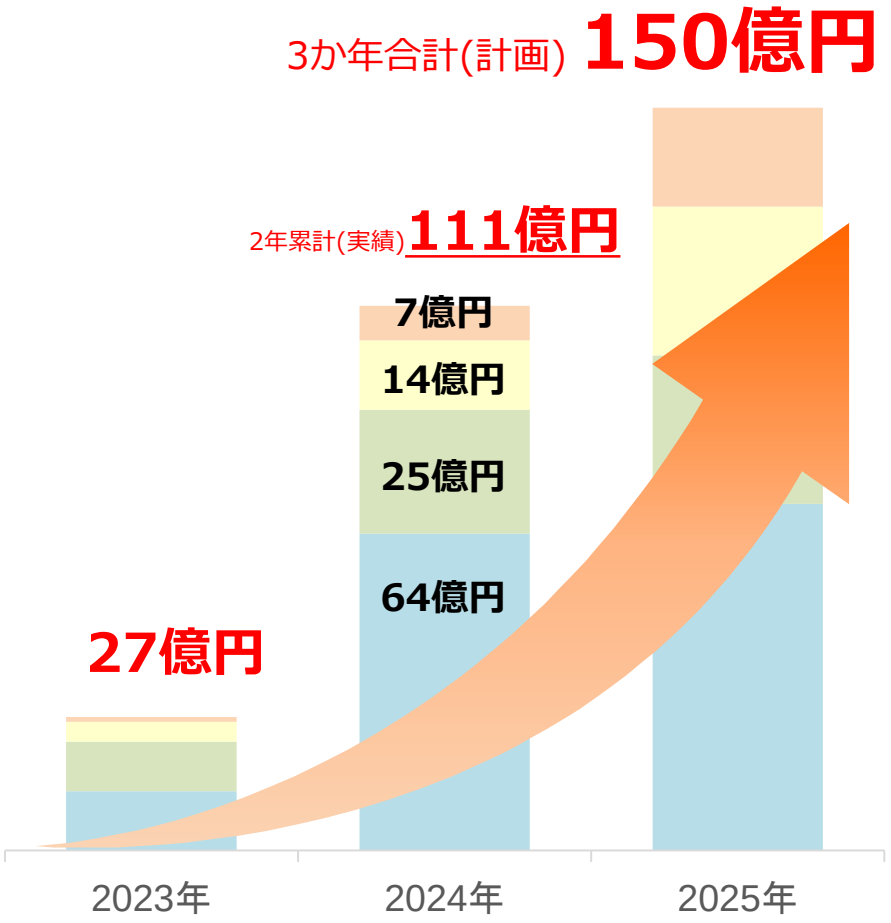
3か年合計 **150億円**

第5次中期経営計画の進捗状況①　積極的な成長投資の実行

SALA GROUP

2030年ビジョンの実現に向け、事業変革と新しい価値の創造を行う
それを実現するため、積極的に成長投資を実施する

カーボンニュートラルの実現、新分野への投資	**セグメントや事業会社間の連携を通じて、新たなサービス・事業創造に向けた取組みを実施** ・電力ビジネスへの展開（系統用蓄電所、太陽光発電設備） ・省エネ、カーボンニュートラル化に向けた設備投資 ・新店舗出店　・新規事業立ち上げ
DX投資	**DXにより、業務プロセスを抜本的に改革し、お客さまの期待を上回る顧客体験を提供** ・グループ基幹システム構築　・販売管理 ・会計システム　・物流システム　・業務効率化
人的資本投資	**多様な人材が自ら考えチャレンジし、活躍できる働き方や仕組みを導入** ・人事制度改革、定年延長　・ベースアップの実施 ・人材育成機会の充実
業務資本提携 M＆A投資等	**会社を越え、グループ内外との共創による新たな価値創造に向けたチャレンジ** ・事業承継　・資本業務提携 ・ベンチャーキャピタルファンド、スタートアップへの出資



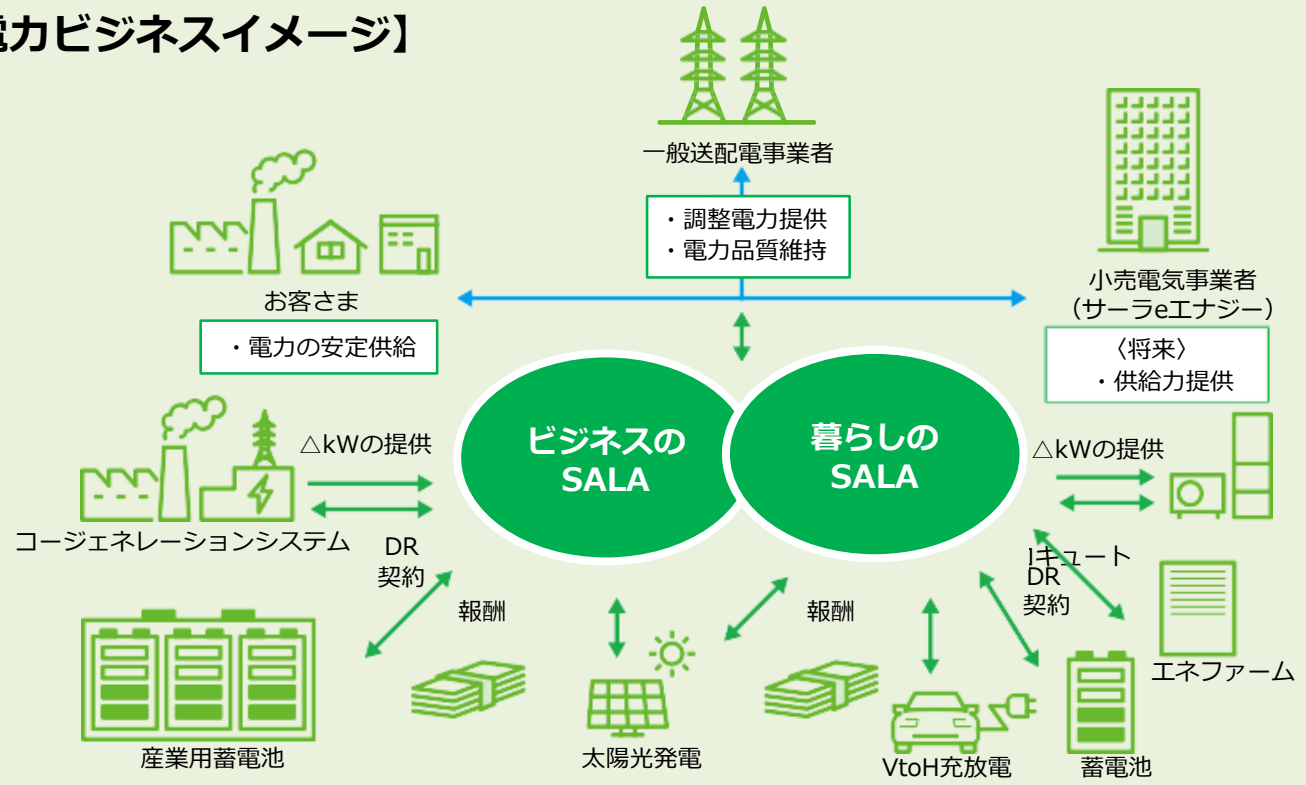
成長分野への投資

第5次中期経営計画の進捗状況②　電力ビジネス拡大に向けた投資

再生可能エネルギー普及に向け系統用蓄電池事業に参入するなど
地域社会やお客さまのカーボンニュートラル化を支援する電力ビジネスを拡大

- 地域の再生可能エネルギーの導入促進に貢献することにより、地域社会やお客さまのカーボンニュートラルニーズに応える
- 電力系統の効率・安定化を図るとともに、電力需給調整市場等における取引を通じて、新たな収益機会の創出を目指す

【当社電力ビジネスイメージ】



ビジネスサービスへの展開

蓄電池・コージェネの販売促進・
更新に加えDRサービスにより
顧客にDR報酬の支払いが可能
（調整力提供による収益化）

暮らしサービスへの展開

グリーンリフォーム拡大に加え
環境価値による新たな価値提供により
他社との差別化を図る

第5次中期経営計画の進捗状況③　住まい分野の飛躍的成長に向けた投資

お客さま視点で最適な住まいのサービス提供を実現するため、リフォーム事業会社の連結子会社化を契機とした発展的な構造改革を実行

- 安江工務店（証券コード：1439）の連結子会社化を契機として、リフォームや各種不動産サービスをはじめとするストック住宅のビジネスモデルを再構築する
- セグメントや事業会社間の連携により、お客さま視点で最適な住まいのサービスをワンストップで提供する

【住まいのワンストップサービス実現】

自宅担保融資 ゆとりあん

2024年11月より
リバースモーゲージサービス
「ゆとりあん」を提供開始

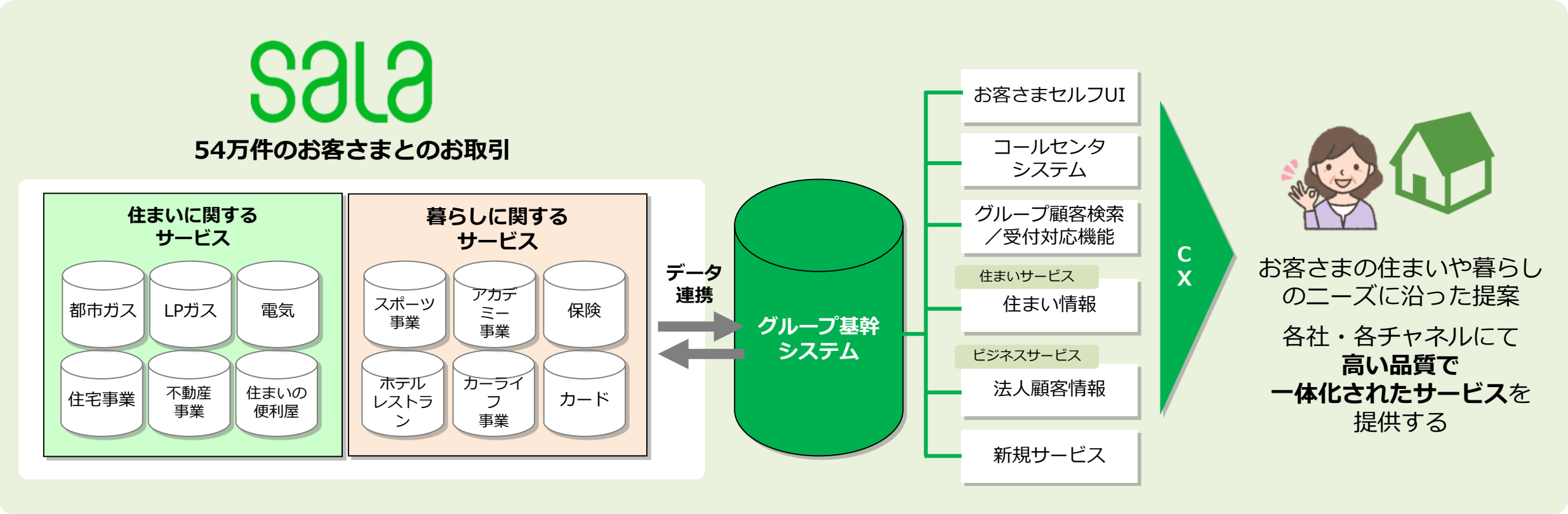
SALA Reform サーラのリフォーム

2025年１月より
国内最高水準の断熱性能に対応した
「SINKA KIWAMI」を販売開始

第5次中期経営計画の進捗状況④　お客さまサービス向上に向けたDX投資

One-to-Oneサービスを提供するためのデジタル基盤が今期より稼働
お客さまの多様な住まい方・暮らし方に寄り添った総合的な提案を実現

- グループ各社に蓄積された顧客情報を効果的に連携・統合し、お客さまの住まいや暮らしのニーズに沿った総合的な提案を実現するための新システムが2025年より稼働開始予定
- あわせて、グループ内外との連携・共創により、お客さまのQOL向上に向けた新たなサービス・事業を開発する



2024年11月期　決算ハイライト

SALA GROUP

●エネルギー＆ソリューションズ事業が減収となったことから、売上高は減少した。

●利益面は、ハウジング事業において収支が大きく改善したため、営業利益は増加した。

	24年11月期	前期比
売上高	2,404億円	△15億円（△0.6%）
営業利益	63億円	＋２億円（+3.7%）
親会社株主に帰属する当期純利益	52億円	△8億円（△13.9%）※

※前年の業績には特別利益として退職給付制度改定益23億円があったことが減少の要因

2025年11月期　計画

SALA GROUP

●全てのセグメントで売上高の増加を計画。

●利益面は、エンジニアリング＆メンテナンスを除く全てのセグメントが増益となり、営業利益の増加を計画。

売上高	25年11月期　計画 2,540億円	前年差 +135億円（+5.6%）
営業利益	25年11月期　計画 70億円	前年差 +6億円（+11.0%）
親会社株主に帰属する当期純利益	25年11月期　計画 50億円	前年差 △2億円（△4.8%）※

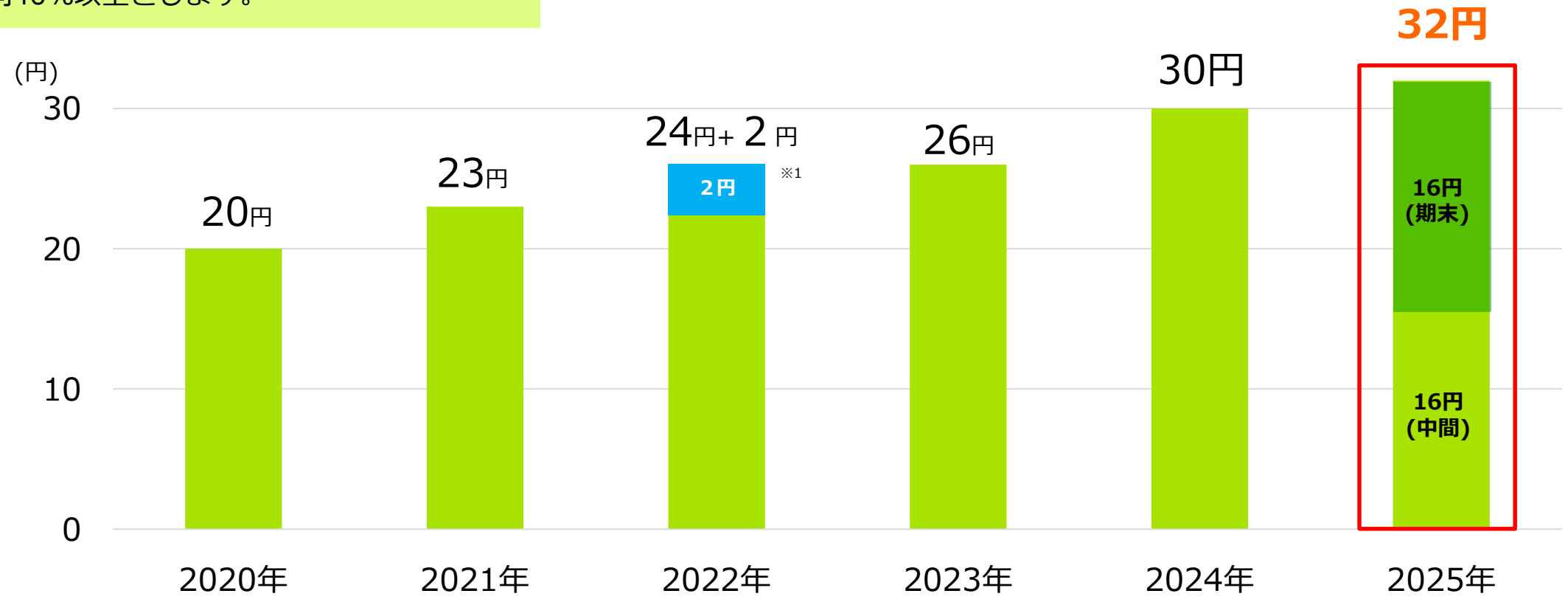
※前年の業績には営業外収益としてデリバティブ評価益10億円があったことが減少の要因

配当金の状況

2024年11月期の配当は、予定どおりの30円
2025年11月期の配当は、2円増配の年間32円を予定

配当の基本方針
配当は前期以上を維持しつつ、かつ為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向40%以上とします。

年間配当金の推移



※1 当社設立20周年の記念配当２円を含む

2. セグメント別の決算概況 及び 次期計画について

2024年11月期_セグメント別売上高・営業利益

（単位：百万円）	売上高		営業利益	
	2024年11月期 実績	前年差	2024年11月期 実績	前年差
エネルギー＆ソリューションズ	119,502	△7,615	2,966	△23
エンジニアリング＆メンテナンス	32,727	＋2,080	2,643	△15
ハウジング	35,626	＋1,446	747	＋604
カーライフサポート	17,111	△1,043	64	＋44
アニマルヘルスケア	25,523	＋400	138	△175
プロパティ	8,131	＋3,125	405	△6
その他・調整額	1,876	＋44	△656	△203
全社	**240,498**	**△1,561**	**6,308**	**＋224**

（ご参考）2024年11月期　決算_財務データ①

連結損益計算書

（単位：百万円）	2024年11月期 実績	前年差	増減率	2024年11月期 計画※
売上高	240,498	△1,561	△0.6%	255,000
営業利益	6,308	＋224	＋3.7%	6,300
経常利益	8,193	＋322	＋4.1%	8,000
親会社株主に帰属する当期純利益	5,249	△849	△13.9%	5,400
１株当たり当期純利益（円）	81.90	△13.56	－	84.44

※2024年7月に修正開示

（ご参考）2024年11月期　決算_財務データ②

連結貸借対照表

（単位：百万円）	2024年11月期	前年差	主な増減理由
資産	202,281	＋13,013	**主な増加要因**：「現金及び預金」3,429百万円、「退職給付に係る資産」3,358百万円、「受取手形、売掛金及び契約資産」3,146百万円、「有形固定資産」2,303百万円、「無形固定資産」1,753百万円、「投資有価証券」1,476百万円 **主な減少要因**：「仕掛品」2,981百万円
負債	116,662	＋6,041	**主な増加要因**：「長期借入金（1年内返済予定を含む）」4,359百万円、流動負債の「その他」3,292百万円、「未払法人税等」1,235百万円 **主な減少要因**：「短期借入金」2,588百万円
純資産	85,618	＋6,972	**主な増加要因**：「利益剰余金」が3,532百万円（親会社株主に帰属する当期純利益の計上により5,249百万円増加、配当の実施により1,716百万円減少）、「退職給付に係る調整累計額」2,520百万円
自己資本比率（%）	41.5	＋0.7	－

SALA GROUP

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）	2024年11月期	前年差	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	14,243	＋8,480	**主な増加要因**：「税金等調整前当期純利益」7,724百万円、「減価償却費」6,516百万円、「棚卸資産の減少額」3,934百万円、「退職給付に係る負債の増加額」3,642百万円 **主な減少要因**：「退職給付に係る資産の増加額」3,358百万円、「売上債権の増加額」2,848百万円、「法人税等の支払額」1,134百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△10,334	△4,713	**主な増加要因**：「貸付金の回収による収入」830百万円、「有形固定資産の売却による収入」425百万円 **主な減少要因**：「有形固定資産の取得による支出」9,876百万円、「無形固定資産の取得による支出」1,576百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△431	＋934	**主な増加要因**：「長期借入れによる収入」11,859百万円 **主な減少要因**：「長期借入金の返済による支出」7,887百万円、「短期借入金の純減額」2,588百万円、「配当金の支払額」1,711百万円

2025年11月期_セグメント別売上高・営業利益　計画

（単位：百万円）	売上高			営業利益		
	2024年11月期 実績	2025年11月期 計画	差	2024年11月期 実績	2025年11月期 計画	差
エネルギー＆ソリューションズ	119,502	124,000	＋4,498	2,966	3,500	＋534
エンジニアリング＆メンテナンス	32,727	34,000	＋1,273	2,643	2,100	△543
ハウジング	35,626	37,000	＋1,374	747	850	＋103
カーライフサポート	17,111	21,000	＋3,889	64	300	＋236
アニマルヘルスケア	25,523	28,000	＋2,477	138	300	＋162
プロパティ	8,131	8,200	＋69	405	450	＋45
その他・調整額	1,876	1,800	△76	△656	△500	＋156
全社	**240,498**	**254,000**	**＋13,502**	**6,308**	**7,000**	**＋692**

エネルギー＆ソリューションズ

都市ガス、LPガス、電気、石油製品、高圧ガス、物流サービス、リフォーム

数値計画

単位：百万円

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
売上高	127,117	119,502	124,000	+4,498
営業利益	2,989	2,966	3,500	+534

重要指標

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
お客さま件数	534千件	539千件	546千件	+7千件
リフォーム売上高	95億円	105億円	110億円	+5億円
ビジネスサービス利益	15.7億円	15.6億円	18.4億円	+2.8億円

決算の概況

- 売上高は、前年と比較しエネルギー原料価格の高騰がやや落ち着いたことから、それに伴い販売単価を下方調整したことで、前年比6.0%減となった。
- 営業利益は、経費の抑制に努めたものの、都市ガス･LPガスともにガス販売量が減少したことに加え、バイオマス発電所の原料価格の高騰などの影響により、わずかに減益となった。

2025年11月期 計画

- カーボンニュートラルへの対応など、お客さまの豊かな暮らしと事業課題を解決するビジネス支援を推進する。創エネ、省エネ、畜エネ設備機器の提案により生活サービス・ビジネスサービスの拡大と顧客基盤の拡大を目指す。
- 電力事業について、小売分野の収益向上に引き続き取り組むとともに、浜松に続き２か所目となる東三河蓄電所の建設により蓄電事業を拡大させる。
- 次期基幹システムの構築により、業務効率を高めるとともに、グループ内の顧客データを連携させることで、サービス品質の向上及び収益性の拡大を図る。

エンジニアリング＆メンテナンス

都市インフラ整備（道路、建築、港湾土木など）、設備工事・メンテナンス、システム開発

数値計画

単位：百万円

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
売上高	30,646	32,727	34,000	+1,273
営業利益	2,659	2,643	2,100	△543

重要指標

単位：百万円

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
設備工事部門売上高	5,376	5,140	5,370	+230
土木部門売上高	11,914	11,742	12,531	+789
建築部門売上高	6,553	7,862	7,100	△762
メンテナンス部門売上高	6,017	6,724	6,400	△324

決算の概況

- 売上高は、建築部門の完成工事が増加したことに加えて、メンテナンス部門が堅調に推移したことにより、前年比6.8%増となった。
- 営業利益は、土木部門で完成工事の減少と粗利率の低下により完成工事粗利益が減少したことから前年比0.6%減となったものの、引き続き高い水準を維持している。

2025年11月期 計画

- 安定的な公共投資により着実な受注確保を目指すとともに、省エネや創エネ、カーボンオフセットなど脱炭素化に寄与する設備・インフラ提案やZEB化の提案により、お客さまの事業活動におけるカーボンニュートラル化に貢献する。
- 安定的な収益基盤づくりのための業務プロセス改革を継続するとともに、社員教育の強化、IT・デジタル技術の活用推進により、生産性の向上を図る。

ハウジング

注文住宅・分譲住宅、リフォーム、建築資材

数値計画

単位：百万円

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
売上高	34,180	35,626	37,000	+1,374
営業利益	142	747	850	+103

重要指標

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
新築戸建住宅引渡し件数※	381件	427件	473件	+46件
ZEH比率（注文住宅）	36%	37%	50%	+13%
住宅部資材加工・販売部門 新規顧客開拓件数	110件	142件	140件	△2件

※サーラ住宅、太陽ハウジング、宮下工務店の合計件数

決算の概況

- 住宅販売部門は、前年に販売を開始したSINKAシリーズの受注が伸長し、注文住宅の販売棟数が増加した。一方、住宅部資材加工・販売部門は、愛知県東部・静岡県西部エリアの新設住宅着工戸数が減少した影響により、取引先からの受注が減少した。
- 以上により売上高は前年比4.2%増、営業利益は前年比423.4%増となった。

2025年11月期 計画

- 住宅販売部門は、断熱等性能等級７（最高等級）に対応した新商品「ＳＩＮＫＡ ＫＩＷＡＭＩ（シンカ キワミ）」の販売を2025年１月に開始し、新シリーズの商品ラインアップが揃ったことから、省エネと快適性に優れた注文住宅の受注拡大を図る。
- 住宅部資材加工・販売部門は、新築市場における取引拡大に加え、リフォーム市場や非住宅市場の開拓及びカーボンニュートラル関連商材の取扱い強化など、新たな分野に挑戦する。

カーライフサポート

輸入自動車（フォルクスワーゲン、アウディ）の販売、整備

数値計画

単位：百万円

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
売上高	18,154	17,111	21,000	+3,889
営業利益	19	64	300	+236

重要指標

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
新車販売台数	1,565台	1,353台	2,210台	+857台
中古車販売台数	1,915台	1,806台	1,958台	+152台

決算の概況

- フォルクスワーゲン･アウディともに国内の入荷台数減少の影響により新車販売台数が減少した。新車販売が低調に推移したことに伴い、下取り車が減少したため中古車販売台数も減少し、売上高は前年比5.7%減となった。
- 営業利益は、販売台数は減少したものの、付帯サービスの内製化による原価の削減や経費の抑制により、前年比221.3%増となった。

2025年11月期 計画

- 新車販売部門、中古車販売部門及びサービス部門の連携の強化により、事業運営のレベルアップを進めるとともに、お客さま満足度向上につながる顧客情報の活用を図る。
- 保険・ファイナンス事業の取り組みの強化や、車両コーティング及び電装品の取付などの付帯サービスの拡大により、車両以外の販売に注力する。
- グループ会社との連携により、EV（電気自動車）の積極的な販売や店舗のカーボンニュートラル化を推進する。

アニマルヘルスケア

動物用医薬品、療法食

数値計画

単位：百万円

	2023年実績	2024年実績	2025年計画	差
売上高	25,122	25,523	28,000	+2,477
営業利益	313	138	300	+162

重要指標

単位：百万円

	2023年実績	2024年実績	2025年計画	差
畜産部門売上高	13,081	12,922	14,106	+1,184
ペット関連部門売上高	11,777	11,805	13,550	+1,745

決算の概況

- 売上高は、畜産部門は飼料価格高止まりの影響から動物用医薬品の販売が減少したものの、ペット部門においては新規顧客との取引拡大により堅調に推移したことから、前年比1.6%増となった。
- 営業利益は、売上高は増加したものの動物用医薬品等の仕入価格が上昇したことにより売上総利益率が低下し、前年比55.9%減となった。

2025年11月期 計画

- 営業と配送の分離により倉庫業務を集約化することに伴い、効率的な事業構造へ変革を図るとともに、組織的な営業力の強化を図る。
- 北海道・東日本エリアでは、畜産部門・ペット関連部門ともに新規顧客開拓に注力し、中日本・西日本エリアではペット関連部門のローシェア顧客深耕に注力することで、シェア拡大を図り増収増益を目指す。

プロパティ

不動産賃貸・売買・仲介、まちづくり事業、ホテル、飲食店、スポーツクラブ

数値計画

単位：百万円

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
売上高	5,005	8,131	8,200	+69
営業利益	411	405	450	+45

重要指標

	2023年 実績	2024年 実績	2025年 計画	差
不動産情報収集件数※	1,343件	1,056件	1,000件	△56件

※カウント対象は売買仲介部門のみ

決算の概況

- 不動産部門において2024年4月に竣工した分譲マンションの引渡しを開始したことに加え、ホスピタリティ部門が堅調に推移したため、売上高は前年比62.5%増となった。
- 営業利益は、分譲マンション販売による収益があったものの、不動産仲介及び賃貸物件からの手数料収入が低調に推移したことから、前年比1.5%減となった。

2025年11月期 計画

- 不動産部門は、法人取引の強化やお客さまの資産管理・運用ビジネスの拡充、グループ連携による中古住宅ビジネスの推進などにより収益力強化を図る。
- ホスピタリティ部門は、商品企画力や社員教育などを強化し、質の高い商品・サービスの提供を通じて、新たなお客さまを増やすとともに、データを活用したマーケティング施策の実現によりお客さまのリピート利用促進に注力する。

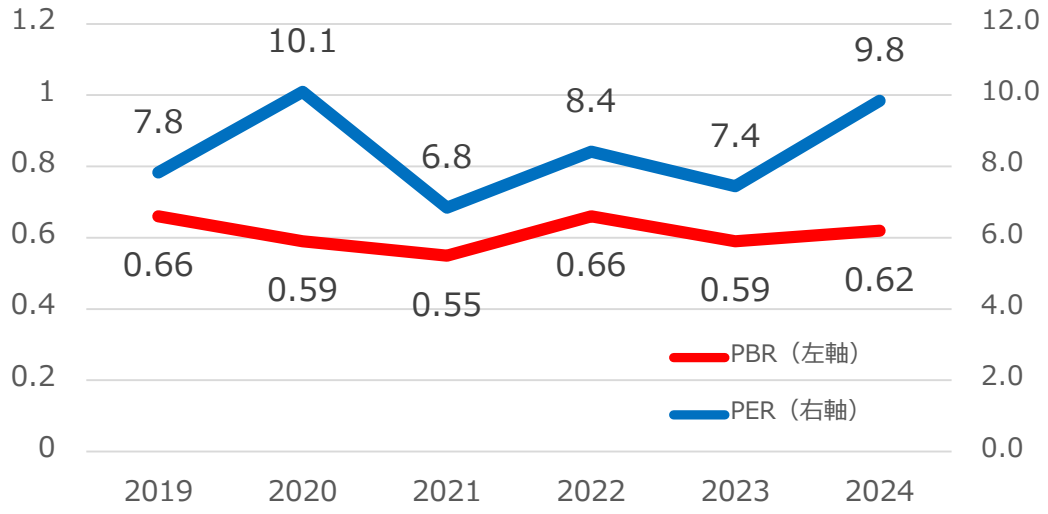
3. 資本コストや株価を意識した経営の取り組み状況

PBRの改善に向けて

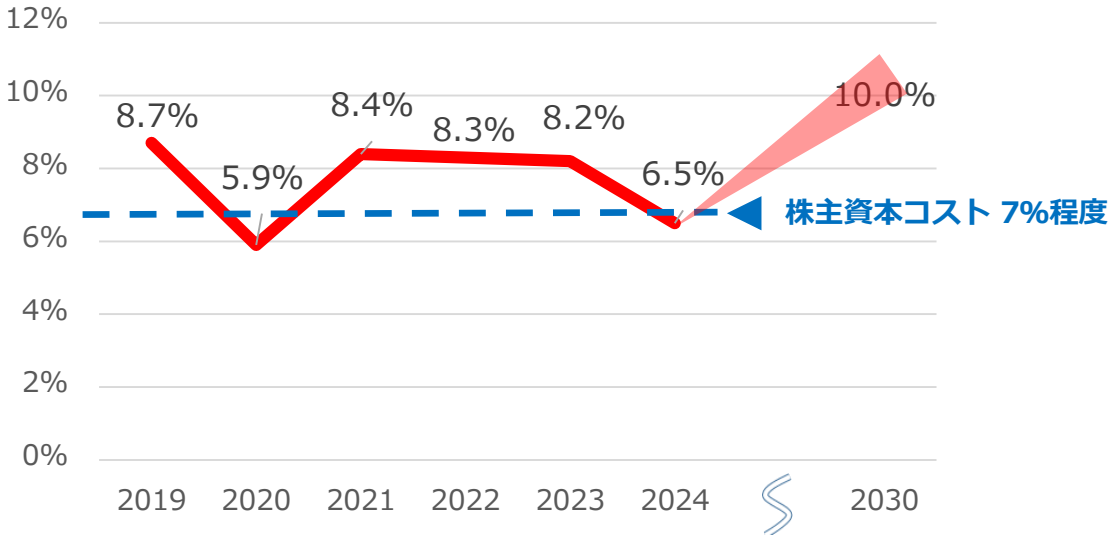
ROEはCAPMベースの株主資本コストと同程度の水準と認識
資本効率の向上により2030年には株主資本コストを上回るROE10%以上を目指す

PBR・PERの推移

※PBR、PERは期末時点



ROEの推移と株主資本コスト



PBR改善に向けた方針・取り組み

- ●2024年から2030年までのキャピタル・アロケーション方針を策定（2024年7月）
- ●成長投資と財務戦略の両輪で2030年までにROE10%以上を目標に設定（2024年7月）
- ●次期中期経営計画期間の成長投資計画については2026年１月に公表予定
- ●株主還元の強化及び資本市場との対話やIRの充実を通じた株価割安要因の解消

キャピタル・アロケーション方針(2024年～2030年)

SALA GROUP

創出される営業CFを原資として、さらなる成長への投資を加速する
同時に株主還元の強化・自己資本比率をコントロールし、資本収益性の向上を目指す

キャッシュイン	キャッシュアウト		現在の進捗状況（更新）
減価償却費 （500億円）	成長投資 （500億円）	・電力ビジネス、住まい暮らしの飛躍的成長に向けた成長投資 ・2030年ビジョン及び中期経営計画に連動した新しい事業への成長投資 ・M&Aやベンチャー企業とのアライアンスの積極活用 ・人的資本投資、DX投資 【KPI】ROE10%以上（2030年）	投資金額（2024年～現在） GX・新分野への投資 52億円 DX投資 15億円 人的資本投資 11億円 資本提携・M&A投資 46億円 合計 124億円
税引き後 営業利益 （500億円）	維持更新投資 （250億円）	・既存事業領域における基盤強化などの継続投資	導管の取得25億円など約40億円
	株主還元 （250億円）	・配当方針の見直し（2024年7月） ・機動的な自己株式の取得 【KPI】自己資本比率40～50%	2024年11月期の年間配当30円 （前年比4円の増配）

株主還元の強化　2024年7月に配当方針を変更

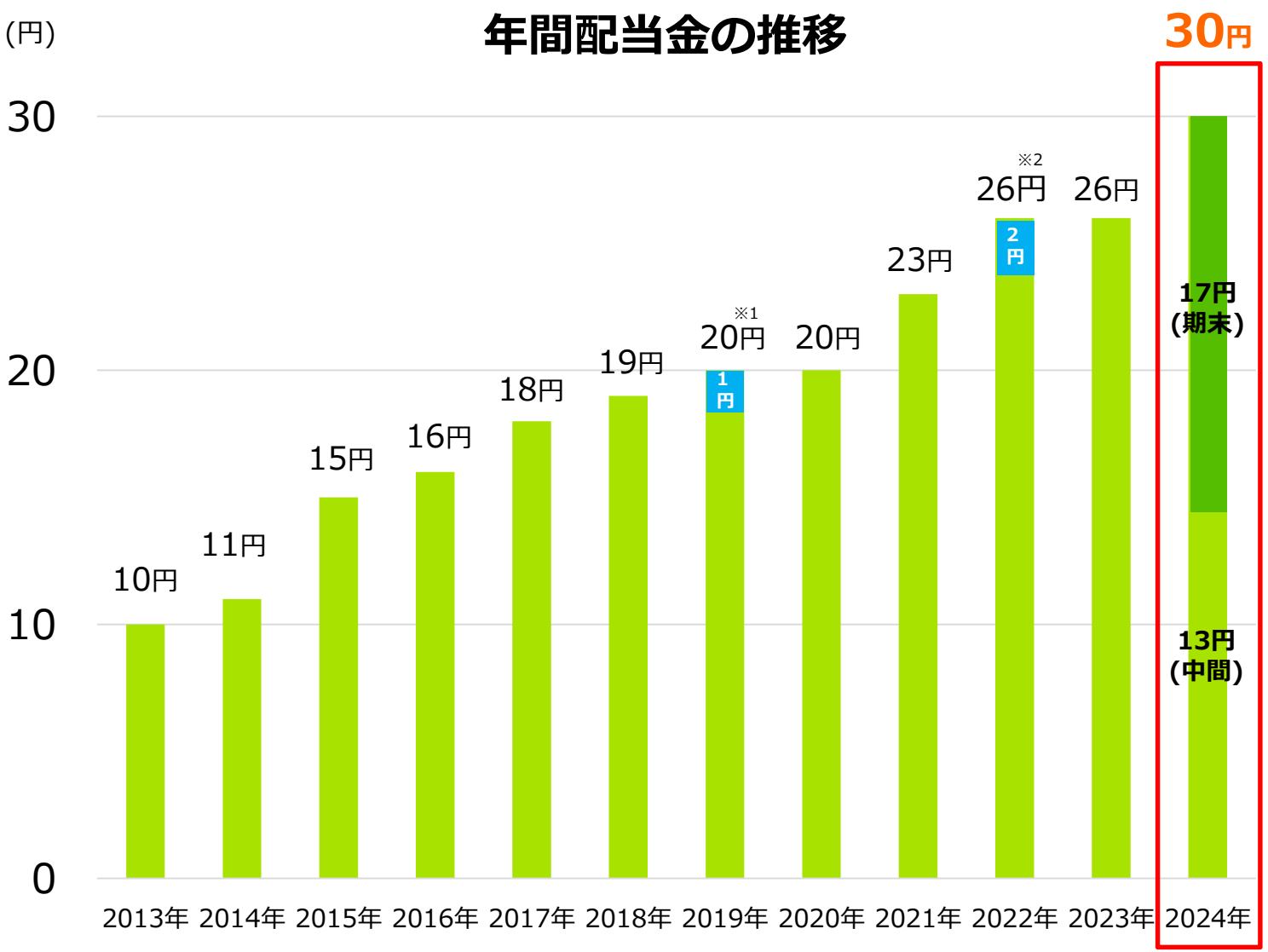
2024年11月期の年間配当金は中間配当金13円と合わせて30円に（前期より4円増配）

配当方針

配当は前期以上を維持しつつ、かつ為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向40%以上とします。また、自己株式の取得につきましては、市場環境や資本効率を勘案し機動的に実施します。

配当利回り（2024年11月末時点）

3.7%



※1 サーラグループ創立110周年の記念配当１円を含む
※2 当社設立20周年の記念配当２円を含む

資本市場との対話やIR活動の充実

項目	2024年７月公表時	現在の進捗状況（更新）
開示情報の充実	・ESG情報を充実した統合報告書の早期開示 ・有価証券報告書の株主総会前開示 ・英文サイト及び英文開示（適時開示情報、決算説明資料等）の充実 ・機関投資家向けの情報提供の拡充としてアナリストレポートの定期発行	・25年度版統合報告書は25年4月末に開示予定 ・有価証券報告書の株主総会前開示（25年2月） ・英文サイトを24年11月にリニューアル 25年1月より適時開示の日英同時開示を開始 ・アナリストレポートを25年3月末に発行予定
決算説明会・投資家面談の充実	・個人投資家・機関投資家向け決算説明会（1月、7月） ・機関投資家との建設的な対話（個別面談）の拡充 ・投資家との対話で得られた意見を取締役会にフィードバック	・個人投資家・機関投資家向け決算説明会（1月、7月） ・機関投資家との建設的な対話（個別面談）の拡充（23年4回→24年13回実施） ・投資家との対話で得られた意見を取締役会にフィードバック

取締役向け業績連動型株式報酬制度の導入

投資家と同じ目線で中長期的に企業価値を高めるとともに、より高い業績にチャレンジするインセンティブ報酬として業績連動型の株式交付信託を導入

●財務指標は、第5次中期経営計画のKPIである連結営業利益と連結ROEを採用
●ESG指標は、自社の事業活動を通じたCO_2排出削減量を採用
●業績連動型株式報酬の比率は、業績目標達成時に固定株式報酬の0.75倍となるように設計

	業績評価指標	ウエイト	支給率
財務指標	連結営業利益	40%	0～200% 業績目標達成時に基準額を支給
	連結ROE （自己資本当期純利益率）	40%	0～200% 業績目標達成時に基準額を支給
ESG指標	CO_2排出削減量	20%	0 or 100%

●導入スケジュール：2025年2月の株主総会決議
●適用時期：2025年11月期（当期）から開始

4. 参考資料

サーラグループの概要（１）会社概要

会社概要

（2024年11月30日現在）

商号	株式会社サーラコーポレーション
設立	2002年５月１日
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー
資本金	80億2,500万円
証券取引所	東京証券取引所　プライム市場 名古屋証券取引所　プレミア市場
役員	代表取締役社長　神野吾郎 兼グループ代表・CEO 常務取締役　渡会隆行 取締役　榑林孝尚 取締役　鈴木敬太郎 取締役　大辻祥子 社外取締役　一柳良雄 社外取締役　大久保和孝 取締役(常勤監査等委員)　武川裕樹 社外取締役(監査等委員)　村松奈緒美 社外取締役(監査等委員)　安形哲夫
従業員数	約5,000名（連結）

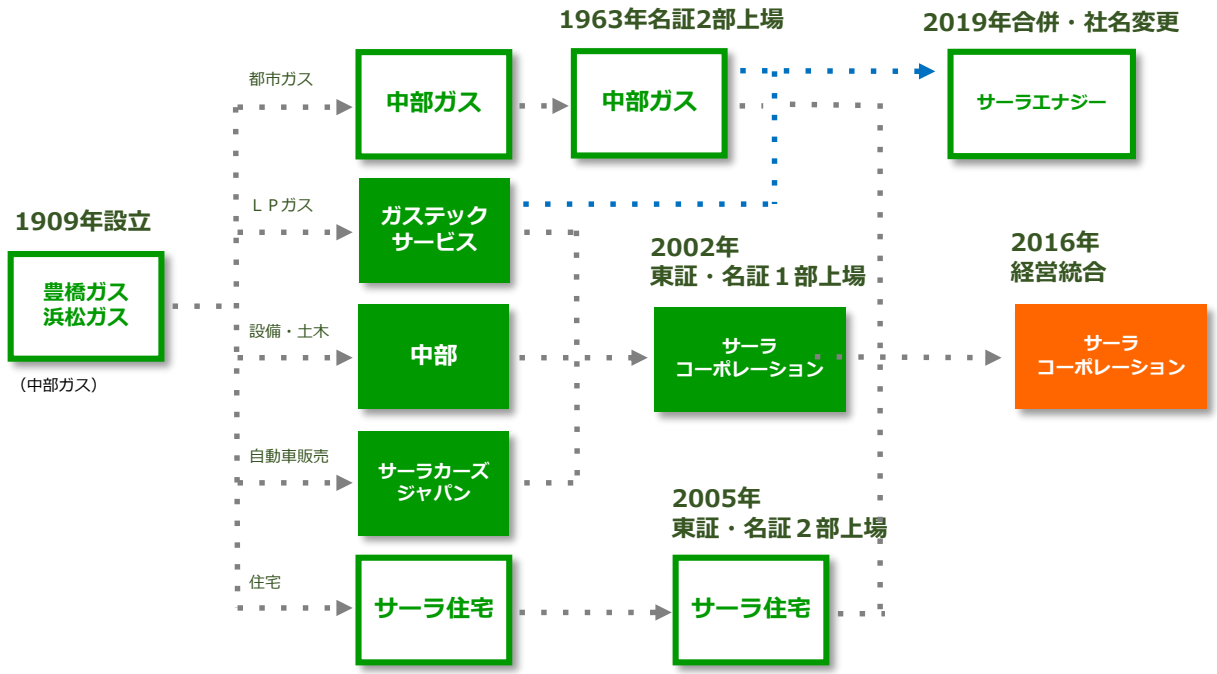
沿革

中核５社による サブグループ経営
１９６０年代、総合生活産業への飛躍をめざして多角化を推進

上場３社を軸に サーラグループを形成
サーラの基本理念のもとグループを結束し新たな事業の取り組み

2016.7資本統合により サーラグループを一体化
経営効率をたかめるとともに地域の暮らしやビジネスを総合的にサポートする事業展開へ

2019.12 エネルギー事業を再編
「お客さま起点」「地域軸」を主とする体制へ変革しお客さまと向き合い、地域に根差した存在へ



サーラグループの概要（２）コーポレートガバナンス体制

（2024年11月30日現在）

●監査等委員設置会社へ移行（2020年２月）

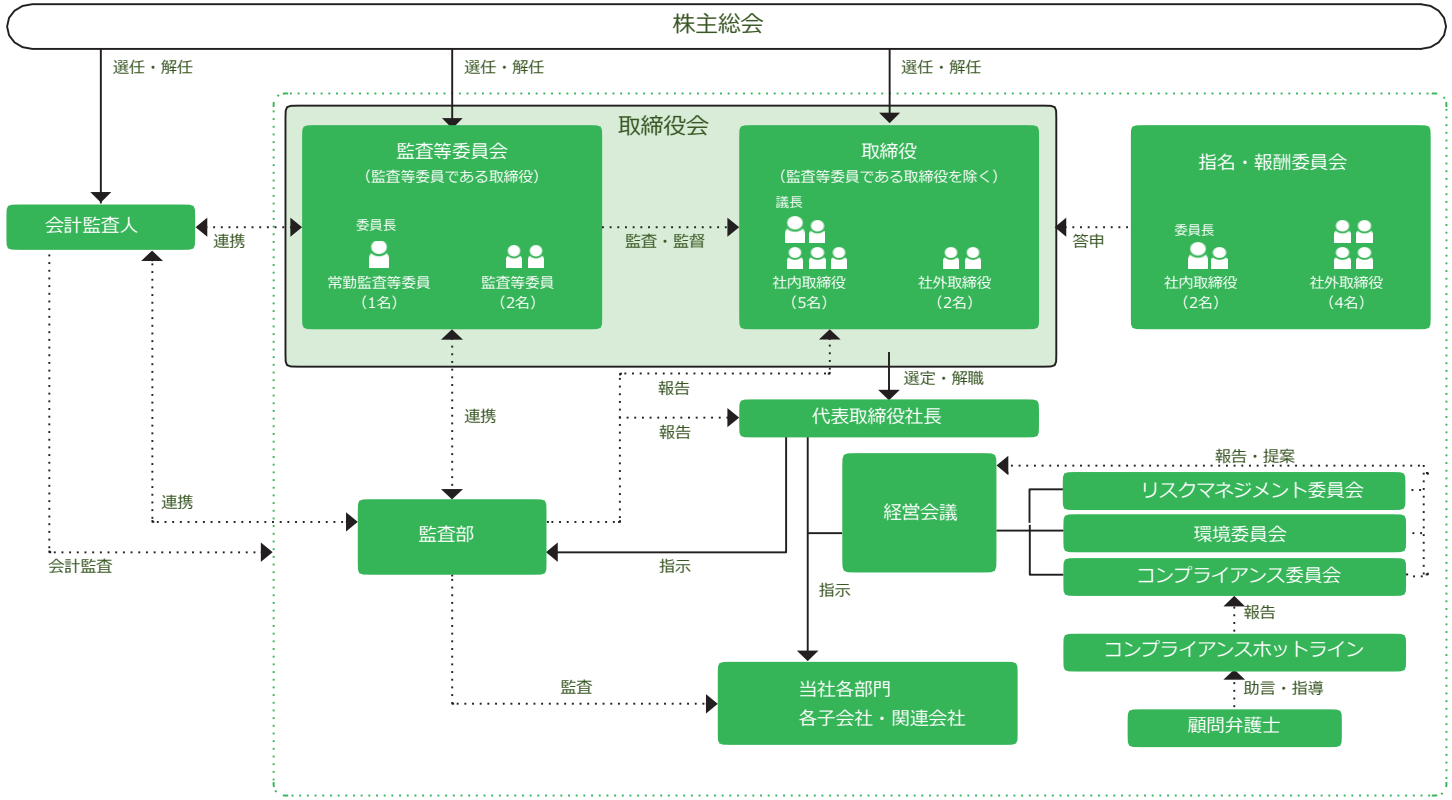
取締役会における業務執行者に対する監督機能の強化と、経営課題に対する議論の充実を図るため、2020年２月に機関設計を変更している

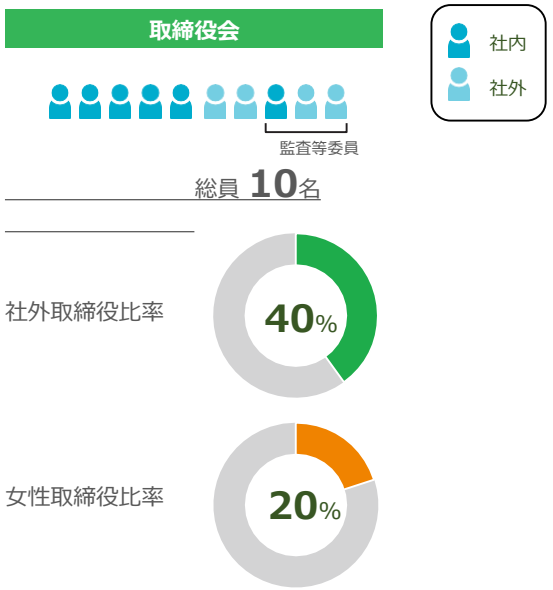
●取締役会の運営の見直し（同上）

取締役会の機能強化を図るため、取締役会と経営会議の関係を整理し、重要な業務執行の決定の一部を経営会議へ委任している

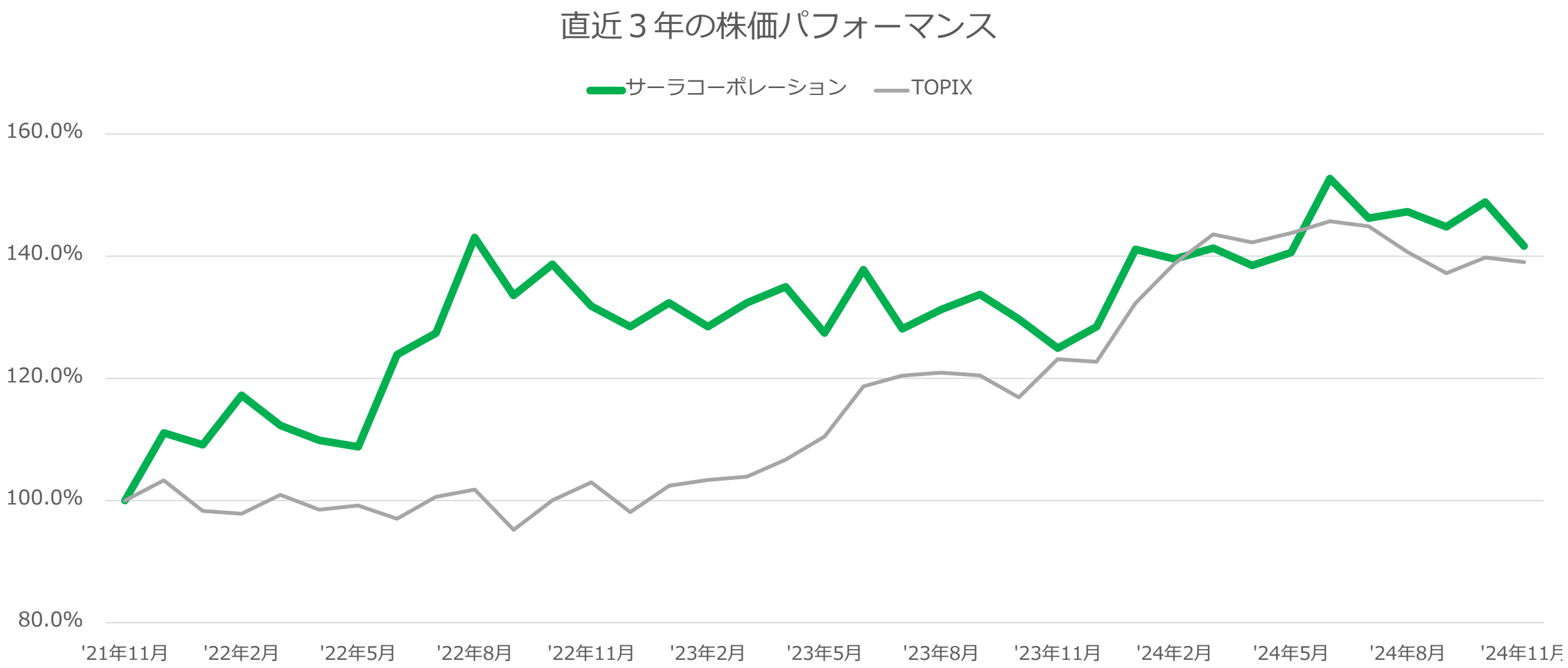
●指名・報酬委員会の設置（同上）

指名・報酬決定プロセスに対する透明性と客観性を高めるため設置し、年２回以上開催している





サーラグループの概要（３）株価パフォーマンス



※　2021年11月の株価を100とする。2024年11月30日終値まで反映。

サーラグループの概要（４）過去四半期財務データ

（単位：百万円）	2022年11月期					2023年11月期					2024年11月期				
	１Q	２Q	３Q	４Q	通期	１Q	２Q	３Q	４Q	通期	１Q	２Q	３Q	４Q	通期
売上高	58,455	59,821	54,744	61,827	234,848	64,154	61,821	55,314	60,768	242,059	59,166	59,730	57,528	64,072	240,498
売上原価	43,081	43,905	42,408	47,855	177,251	48,704	46,990	43,475	47,059	186,229	44,291	44,531	44,701	49,748	183,273
売上総利益	15,374	15,915	12,335	13,971	57,596	15,450	14,831	11,839	13,708	55,829	14,874	15,199	12,826	14,324	57,225
（売上高比率）	26.3%	26.6%	22.5%	22.6%	24.5%	24.1%	24.0%	21.4%	22.6%	23.1%	25.1%	25.4%	22.3%	22.4%	23.8%
販売費及び一般管理費	12,352	12,693	12,657	13,002	50,705	12,445	12,813	12,520	11,966	49,745	12,333	12,851	13,088	12,642	50,916
人件費	6,119	6,356	6,238	6,302	25,015	6,057	6,246	6,263	6,179	24,747	5,958	6,384	6,486	5,975	24,805
販促費	478	585	553	649	2,267	551	636	539	-26	1,701	459	466	530	461	1,916
広告宣伝費	231	163	235	186	817	204	175	215	250	846	232	163	354	230	981
賃借料	1,354	1,301	1,319	1,322	5,298	1,342	1,297	1,309	1,300	5,249	1,277	1,270	1,257	1,284	5,089
減価償却費	1,321	1,335	1,484	1,386	5,527	1,296	1,327	1,309	1,355	5,289	1,287	1,337	1,381	1,394	5,400
租税課金	349	393	297	341	1,381	284	416	281	357	1,339	280	401	286	331	1,300
その他	2,498	2,557	2,528	2,813	10,397	2,707	2,713	2,601	2,548	10,571	2,836	2,827	2,792	2,965	11,421
営業利益	3,021	3,222	-321	968	6,891	3,004	2,017	-680	1,742	6,083	2,541	2,347	-262	1,681	6,308
（売上高比率）	5.2%	5.4%	-0.6%	1.6%	2.9%	4.7%	3.3%	-1.2%	2.9%	2.5%	4.3%	3.9%	-0.5%	2.6%	2.6%
営業外収益	420	514	1,036	84	2,055	233	536	826	453	2,049	443	972	-13	816	2,218
営業外費用	221	-73	79	118	345	344	-233	90	61	262	84	92	61	94	333
経常利益	3,220	3,810	635	934	8,601	2,892	2,787	55	2,133	7,870	2,900	3,226	-337	2,403	8,193
（売上高比率）	5.5%	6.4%	1.2%	1.5%	3.7%	4.5%	4.5%	0.1%	3.5%	3.3%	4.9%	5.4%	-0.6%	3.8%	3.4%
特別利益	45	39	92	263	441	9	2,403	79	19	2,511	39	23	36	12	111
特別損失	4	28	40	548	621	26	875	25	78	1,005	40	41	76	422	580
税金等調整前当期純利益	3,261	3,822	688	649	8,422	2,875	4,316	110	2,074	9,376	2,899	3,208	-377	1,993	7,724
法人税等	956	1,218	124	358	2,658	887	1,472	-83	849	3,126	910	823	-98	681	2,317
非支配株主に帰属する当期純利益	62	45	14	-40	81	36	46	38	29	151	51	17	45	42	157
親会社株主に帰属する当期純利益	2,243	2,557	549	331	5,682	1,951	2,796	155	1,195	6,099	1,937	2,367	-324	1,269	5,249
（売上高比率）	3.8%	4.3%	1.0%	0.5%	2.4%	3.0%	4.5%	0.3%	2.0%	2.5%	3.3%	4.0%	-0.6%	2.0%	2.2%

サーラグループの概要（５）過去四半期財務データ_セグメント別 売上高・営業利益

（単位：百万円）	2022年11月期					2023年11月期					2024年11月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	58,455	59,821	54,744	61,827	234,848	64,154	61,821	55,314	60,768	242,059	59,166	59,730	57,528	64,072	240,498
エネルギー＆ソリューションズ	30,824	28,898	26,938	29,972	116,634	39,127	32,210	28,253	27,526	127,117	33,682	30,643	27,280	27,894	119,502
エンジニアリング＆メンテナンス	7,234	8,515	6,376	8,058	30,184	7,014	7,984	7,085	8,562	30,646	6,828	7,930	7,361	10,607	32,727
ハウジング	8,843	9,665	8,881	10,819	38,209	6,367	8,500	7,787	11,524	34,180	7,239	8,271	8,668	11,446	35,626
カーライフサポート	3,718	3,807	4,516	4,922	16,964	4,298	4,527	4,566	4,762	18,154	3,718	4,311	4,044	5,037	17,111
アニマルヘルスケア	6,351	7,161	6,211	6,265	25,989	5,850	7,038	6,136	6,096	25,122	6,183	6,884	6,292	6,162	25,523
プロパティ	891	1,173	1,431	1,232	4,728	1,028	1,103	1,058	1,814	5,005	1,024	1,239	3,487	2,380	8,131
その他・調整額	592	600	388	555	2,136	468	455	425	481	1,831	489	449	393	544	1,876
営業利益	3,021	3,222	-321	968	6,891	3,004	2,017	-680	1,742	6,083	2,541	2,347	-262	1,681	6,308
エネルギー＆ソリューションズ	2,627	1,892	-586	62	3,996	2,855	1,201	-1,034	-32	2,989	2,415	1,583	-591	-440	2,966
エンジニアリング＆メンテナンス	412	997	266	517	2,192	565	818	610	664	2,659	625	690	505	821	2,643
ハウジング	39	171	63	294	568	-342	-57	-97	640	142	-190	9	89	838	747
カーライフサポート	9	-3	17	218	241	-86	-47	-53	207	19	-191	-46	-31	334	64
アニマルヘルスケア	199	315	66	88	669	109	168	-11	47	313	22	148	-71	39	138
プロパティ	-136	-52	-62	-167	-418	-43	25	-3	434	411	-13	20	44	353	405
その他・調整額	-129	-98	-86	-44	-358	-53	-90	-88	-220	-453	-126	-58	-207	-265	-656

サーラグループの概要（６）各種指標

	2020年11月期	2021年11月期	2022年11月期	2023年11月期	2024年11月期
EPS【１株当たり当期純利益】（円）	55.86	83.13	89.12	95.46	81.90
BPS【１株当たり純資産】（円）	961.01	1,027.98	1,128.69	1,206.92	1,308.63
DPS【１株当たり配当金】（円）	20.0	23.0	26.0	26.0	30.0
売上高営業利益率	2.8%	2.9%	2.9%	2.5%	2.6%
ROE【自己資本当期純利益率】	5.9%	8.4%	8.3%	8.2%	6.5%
配当性向	35.8%	27.7%	29.2%	27.2%	36.6%
総資産回転率（倍）	1.1	1.2	1.2	1.3	1.2
自己資本比率	32.1%	34.9%	38.2%	40.8%	41.5%

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている数値計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ先

株式会社サーラコーポレーション総務部総務グループ
TEL：0532-51-1182　Email：ir@sala.jp